

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2- (1) 1類感染症発生状況

(単位：人)

年	疾患名	人数	市町
平成22年	-	-	-

(2) 2類感染症発生状況

表2- (2) 2類感染症発生状況

(単位：人)

年	疾患名	人数	市町
平成22年	-	-	-

(3) 3類感染症発生状況

表2- (3) 3類感染症発生状況

(単位：人)

年 市町	病類	総 数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
平成20年		13	-	-	13	-	-
平成21年		28	1	1	26	-	-
平成22年		7	-	1	6	-	-
市川市		3	-	1	2	-	-
浦安市		4	-	-	4	-	-
その他(管外)		-	-	-	-	-	-

(4) 1類感染症及び2類感染症並びに3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

表2-(4)-ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人)、検査(件))

年度	病類	疾患名	調査		検査(依頼)	
			調査	検査	調査	検査
平成22年度		-	-	-	-	-

表2-(4)-イ 2類感染症発生に伴う健康調査実施状況(結核は除く)

(単位：調査(人)、検査(件))

年度	病類	疾患名	調査		検査(依頼)	
			調査	検査	調査	検査
平成22年度		-	-	-	-	-

(注) SARSについては、「疑似症状患者」及び「疑い例」を含む。

表2-(4)-ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人)、検査(件))

年度	病類		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
平成20年度	107	87	-	-	-	-	107	87	-	-	-	-	2
平成21年度	127	131	1	2	1	6	125	123	-	-	-	-	14
平成22年度	54	54	-	-	3	3	44	44	7	7	-	-	6

(5) 4類感染症発生状況

ア 全数把握対象感染症

表2-(5)-ア 4類感染症発生状況

(単位：人)

疾患名		平成20年	平成21年	平成22年
1	E型肝炎	1	-	-
2	ウエストナイル熱	-	-	-
3	A型肝炎	-	-	1
4	エキノコックス症	-	-	-
5	黄熱	-	-	-
6	オウム病	-	-	-
7	オムスク出血熱	-	-	-
8	回帰熱	-	-	-
9	キャサヌル森林病	-	2	-
10	Q熱	-	-	-
11	狂犬病	-	-	-
12	コクシジオイデス症	-	-	-
13	サル痘	-	-	-
14	腎症候性出血熱	-	-	-
15	西部ウマ脳炎	-	-	-
16	ダニ媒介脳炎	-	-	-
17	炭疽	-	-	-
18	チクングニア熱	-	-	-
19	つつが虫病	-	-	-
20	デング熱	-	2	1
21	東部ウマ脳炎	-	-	-
22	鳥インフルエンザ	-	-	-
23	ニパウイルス感染症	-	-	-
24	日本紅斑熱	-	-	-
25	日本脳炎	-	-	-
26	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
27	Bウイルス病	-	-	-
28	鼻疽	-	-	-
29	ブルセラ症	-	-	-
30	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
31	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
32	発しんチフス	-	-	-
33	ボツリヌス症	-	-	-
34	マラリア	-	2	-
35	野兔病	-	-	-
36	ライム病	-	-	-
37	リッサウイルス感染症	-	-	-
38	リフトバレー熱	-	-	-
39	類鼻疽	-	-	-
40	レジオネラ症	2	3	2
41	レプトスピラ症	-	-	-
42	ロッキー山紅斑熱	-	-	-

(6) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2-(6)-ア 5類感染症発生状況

(単位：人)

疾患名		平成20年	平成21年	平成22年
1	アメーバ赤痢	3	3	3
2	ウイルス性肝炎（E型肝炎、A型肝炎を除く）	1	-	-
3	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、 ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、 ベネズエラウマ脳炎、リフトバレー熱を除く）	-	5	-
4	クリプトスポリジウム症	-	-	-
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	1
6	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3	1
7	後天性免疫不全症候群	9	9	6
8	ジアルジア症	3	-	-
9	髄膜炎菌性髄膜炎	1	-	-
10	先天性風しん症候群	-	-	-
11	梅毒	2	5	4
12	破傷風	1	1	1
13	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-
14	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
15	麻しん	219	8	3
16	風しん	1	-	2

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

1) 患者定点

表2-(6)-イ-1)-(ア) 患者定点医療機関数

インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症	基幹
19	12	3	4	—

表2-(6)-イ-1)-(イ) 定点把握対象疾患状況

(単位：人)

疾患名	平成20年	平成21年	平成22年
1 RSウイルス感染症	7	5	33
2 咽頭結膜熱	109	94	61
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	675	633	574
4 感染性胃腸炎	4,009	2,440	3,544
5 水痘	836	513	542
6 手足口病	271	215	505
7 伝染性紅斑	47	96	288
8 突発性発しん	325	316	274
9 百日咳	6	7	2
10 ヘルパンギーナ	547	139	376
11 流行性耳下腺炎	70	220	389
12 インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)	914	7,080	786
13 急性出血性結膜炎	5	5	6
14 流行性角結膜炎	26	25	13
15 性器クラミジア感染症	72	69	54
16 性器ヘルペスウイルス感染症	23	15	16
17 尖圭コンジローマ	20	7	13
18 淋菌感染症	24	17	26
19 クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	—	—	—
20 細菌性髄膜炎	—	—	—
21 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	—	—	—
22 マイコプラズマ肺炎	—	—	—
23 無菌性髄膜炎	—	—	—
24 メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	—	—	—
25 薬剤耐性アシネトバクター感染症*	—	—	—
26 薬剤耐性緑膿菌感染症	—	—	—

(*平成23年2月1日追加)

2) 病原体定点

表2-(6)-イ-2) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区分	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
医療機関数	2	1	・	・
検体提供数	9	3	・	・

(7) 4類感染症及び5類感染症発生に伴う健康調査実施状況

表2-(7)-ア 4類感染症健康調査状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
平成22年度	レジオネラ症	2
	A型肝炎	1
	デング熱	1

表2-(7)-イ 5類感染症健康調査状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
平成22年度	感染性胃腸炎	269
	麻疹	3

(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査（人）、検便（件）)

区分 年度	総 数	管外での感染症 発生に伴う調査数 (検疫通報除く)	自主申告による 調査数	検疫通報に伴う 接触者及び同行者 調査数	検便実施者数	検出菌			
						コレ ラ	赤 痢	○ 157	そ の 他
平成20年度	18	18	-	-	5	-	-	-	-
平成21年度	19	19	-	-	16	-	-	-	-
平成22年度	19	19	-	-	15	-	-	-	-

(9) その他

表2-(9) インフルエンザ様疾患届出状況

(単位：件)

区分	届出施設数	届出患者数	措 置			
			学級閉鎖数	学年閉鎖数	休校	その他
平成20年度	57	2,137	161	12	21	-
平成21年度	201	8,953	2,563	108	68	-
平成22年度	81	2,647	262	23	5	-
幼稚園	16	323	27	2	2	-
小学校	56	2,148	222	20	3	-
中学校	7	157	12	0	0	-
高等学校	2	19	1	1	0	-
保育園	0	0	0	0	0	-
学童保育	0	0	0	0	0	-

(10) 社会福祉施設対象の感染症予防事業

社会福祉施設の感染症予防対策の充実を図るため、習志野健康福祉センター監査指導課の協力を得て、社会福祉施設職員対象の研修会と監査指導に同行しての実地指導を実施した。

ア 感染症予防対策研修会実施状況

表2-(10)-ア 感染症予防対策研修会実施状況

開催月日	対象	参加者数	主な内容
平成22年6月24日	社会福祉施設等の 管理者・職員	100人	講義： ①感染症の基礎知識について ②食品衛生管理について ③職員の健康管理について ④施設における感染症対策委員会の構築と 感染症マニュアルの作成について 講師 千葉県衛生研究所 柴田幸治氏
平成22年10月27日	高齢者介護施設 職員	74人	講義 ① 感染症及び季節性インフルエンザ・新型インフルエンザについて ② 高齢者介護施設における感染症対策

イ 感染症予防実地指導状況

特別養護老人ホーム・ケアハウスなど7施設を指導

(11) 腸内細菌検査

平成20年度から、市川健康福祉センター（市川保健所）の検査機能が廃止されたため、習志野健康福祉センター（習志野保健所）に腸内細菌検査業務を依頼して実施している。

表2-(11) 腸内細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	給食施設 従事	食品取扱 従事	水道施設 従事	その他
平成20年度		3,965	1,352	979	371	1,263
平成21年度		4,125	1,693	1,463	523	446
平成22年度		3,795	1,156	1,163	547	929
内 訳	赤痢菌・チフス菌・パラチフスA菌	1,482	448	35	306	693
	腸管出血性大腸菌O157	2,313	708	1,128	241	236
	腸炎ビブリオ	-	-	-	-	-
	黄色ブドウ球菌	-	-	-	-	-
検出菌		-	-	-	-	-

(12) 感染症関係研修会

開催月日	主な内容	参加者数
平成 22 年 10 月 13 日	<p>インフルエンザ対策講演会 (地域保健推進事業)</p> <p>(1) 講演「インフルエンザの動向と予防接種・治療」 講師 千葉大学医学部附属病院 佐藤武幸先生</p> <p>(2) お知らせ「感染症情報ネットについて」</p>	104 人
平成 22 年 10 月 18 日	<p>院内感染対策研修会</p> <p>講演「院内感染防止対策」 —精神科病院における感染防止対策— 講師 千葉県衛生研究所 柴田幸治氏</p>	45 人
平成 22 年 11 月 24 日	<p>院内感染対策講演会 (地域健康危機管理推進事業)</p> <p>(1) 講演「院内感染対策上注意すべき新型の多剤耐性菌」 講師 国立感染症研究所 細菌第二部長 荒川宜親先生</p> <p>(2) 講演「院内感染の現状と対策—当院の経験例から—」 講師 国立国際医療センター病院 エイズ治療・研究開発センター 照屋勝治先生</p>	220 人
平成 23 年 2 月 9 日	<p>高齢者結核研修会</p> <p>(1) 講演「高齢者結核について」 講師 国立病院機構千葉東病院長 山岸文雄先生 座長 ちば県民保健予防財団・総合健診センター長 鈴木公典先生</p> <p>(2) 報告 市川保健所・船橋市保健所管内の高齢者結核 早期発見の地域連携について 市川保健所 久保秀一所長</p>	123 人